



井関小だより

令和5年1月

2023.January

かしこく、なかよく、たくましく、未来を創る井関っ子



2023年も、学校と地域が大好きな井関っ子に・・・



井関小HP



校長 井上 靖資

今年も昨年に続き地域の方が立派な門松を作ってくださいました。井関小の玄関がとても素敵なお正月の雰囲気になりました。ありがとうございました。



新年 明けましておめでとうございます。

昨年は地域の方のご指導により、伝統文化や自然体験など多くの学びを子ども達に提供していただきました。本校教育推進のため、様々なお力添えをいただいた井関地域の方々、保護者の方々のご協力により、コロナ禍であっても様々な学びや体験を実践していくことができ、子ども達は確実に成長しています。本当にありがとうございます。

一日の計は 朝にあり、一年の計は 元旦にあり、
十年の計は 樹を植えるにあり、百年の計は 子を教えるにあり

「一年の計は 元旦にあり」は新しく迎える一年の目標や計画、その一年になすべきことを、その年の初めの元旦に立てることで、その一年が有意義な一年になっていくという意味が込められています。「計」は計画の意味で、自分が児童や生徒だった時も必ず先生方が三学期の最初に言われていたことわざです。

しかし、自分が大人になり、教師になり、親になった今では、「百年の計は 子を教えるにあり」が自分の中で本当にそうだと思うことわざです。樹を育てるには十年の計画が必要だが、子どもを教育することは、百年の遠い将来までを考えて計画することが大切であるという意味が込められています。昔から教育による人づくりは、とても重要なことであると言われ、伝えられてきたことです。このことわざは家庭や学校だけでなく、地域や社会においてもあてはまります。人と人がつながり、人が人に教え、人づくりを行う。特に井関小の子ども達には「学校と地域が大好きな井関っ子」になってほしいと思っています。

そして9年間、阿知須地域で育んだ地域を大切に作る心は、百年経っても風化することなく、人づくりの好循環が受け継がれていくことでしょう。

2023年も、先生方、保護者、地域の方と一緒に学校と地域が大好きな未来を拓く井関っ子を育てていきます。

本年も、本校教育へのご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

